

非行心理療法の治療構造

日本犯罪心理学会近畿地区研究会

2014／3／1

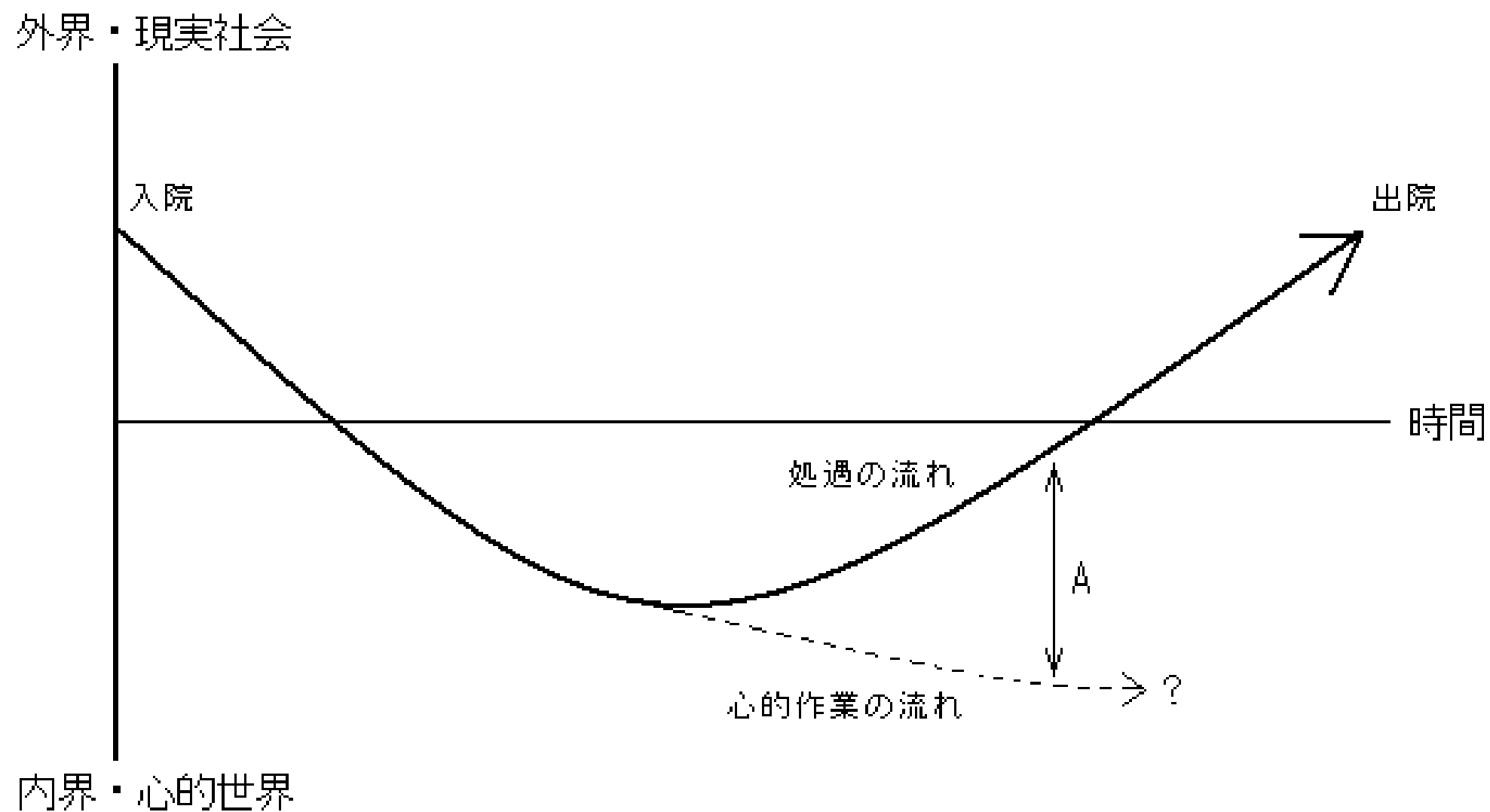


図2 処遇の流れと心的作業の流れ

治療構造

フロイト『分析治療の開始について』(1913)

精神療法をチェスのゲームに例えている

治療の過程: ゲームそのもの

治療構造: ゲームの進め方を規定する諸条件

小此木『治療構造論序説』(1990)

外面的治療構造

治療者・患者の数、場面の設定、空間的配置、
時間的構造、治療料金、通院か入院か

内面的治療構造

治療契約、面接のルール、秘密の保持、
禁欲規則など

対象の特徴 (治療的かかわりの難しさ)

行動化

考える代わりに行動する(行動で“考える”)

行動化しなければ扱うものがない？

動機づけ

“治療動機の欠如”

非行行為の意味は

環境

生育環境：支持環境の乏しさ

治療環境：“強制力”、ある種の拘禁反応としての
施設内適応や離脱

→抱える環境としての治療環境の重要性

治療構造

小此木『治療構造論序説』(1990)

治療者が意図的に設定するもの

治療者の意図を超えて与えられたもの

治療経過中に自然に形成される治療構造

心的世界における治療構造

治療構造に対する転移

逆転移と治療構造



Freud, S. (1856-1939)

フロイト全集 14

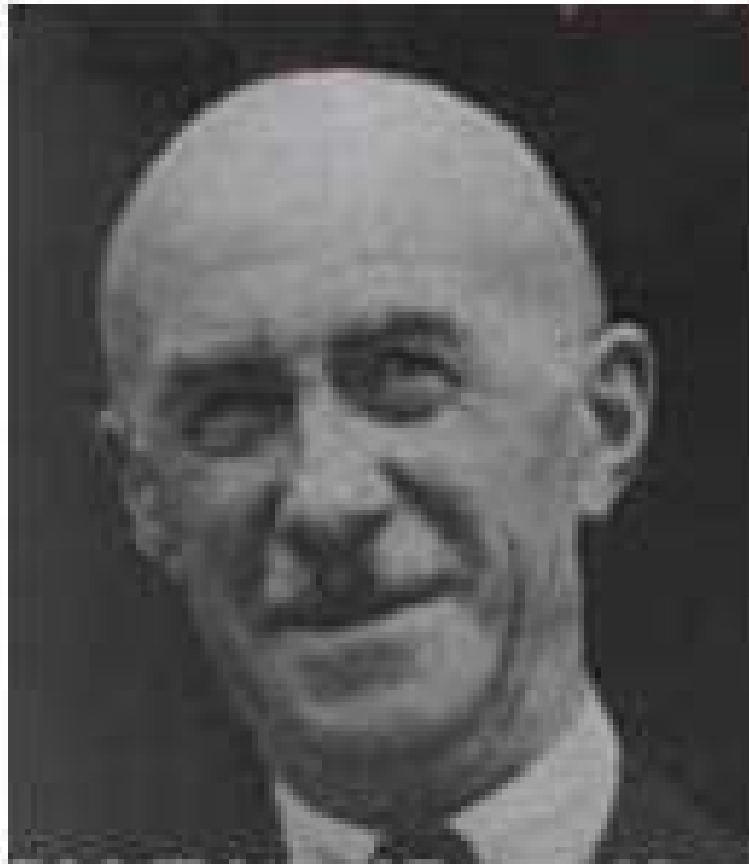
1914-15 年

症例「狼男」
メタサイコロジー諸篇

岩波書店



Klein, M. (1882-1960)



Fairbairn, W.R.D. (1889-1964)

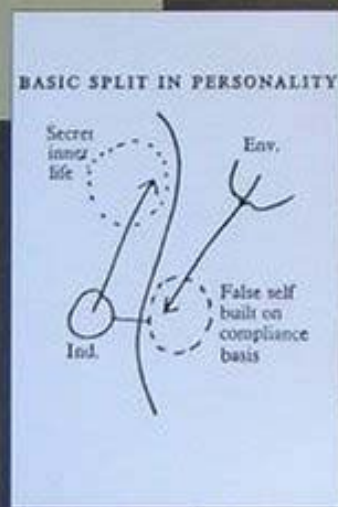


Winnicott, D.W. (1896-1971)

D.W.ウニコット 著 北山 修 監訳

小児医学から精神分析へ

ウニコット臨床論文集



岩崎学術出版社

ウィニコット著作集 3

家庭から社会へ

監修
牛島 定信

訳
井原 成男
上別府 圭子
斉藤 和恵

Winicott

岩崎学術出版社



Bollas, C.

THE MYSTERY OF THINGS

精神分析という経験

事物のミステリー

C・ボラス 著 館 直彦／横井公一 監訳

岩崎学術出版社